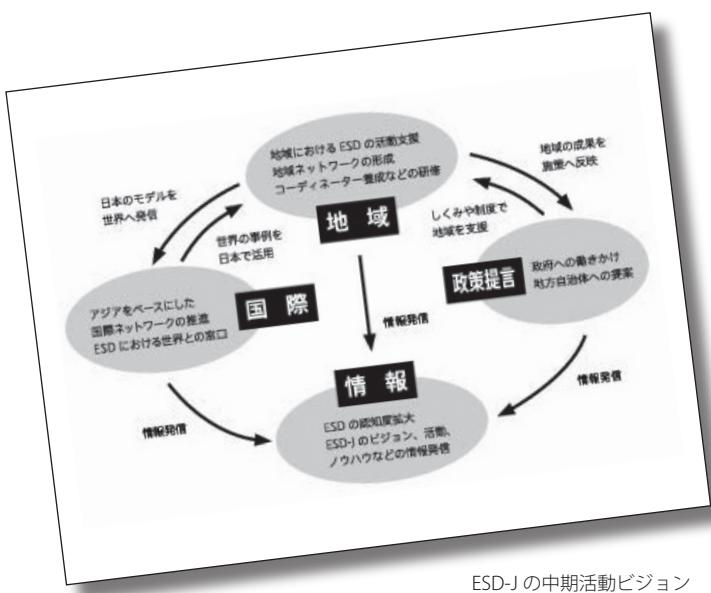


第3章

図解

ひと目でわかる！ ESD-J の活動内容



ESD-J の中期活動ビジョン

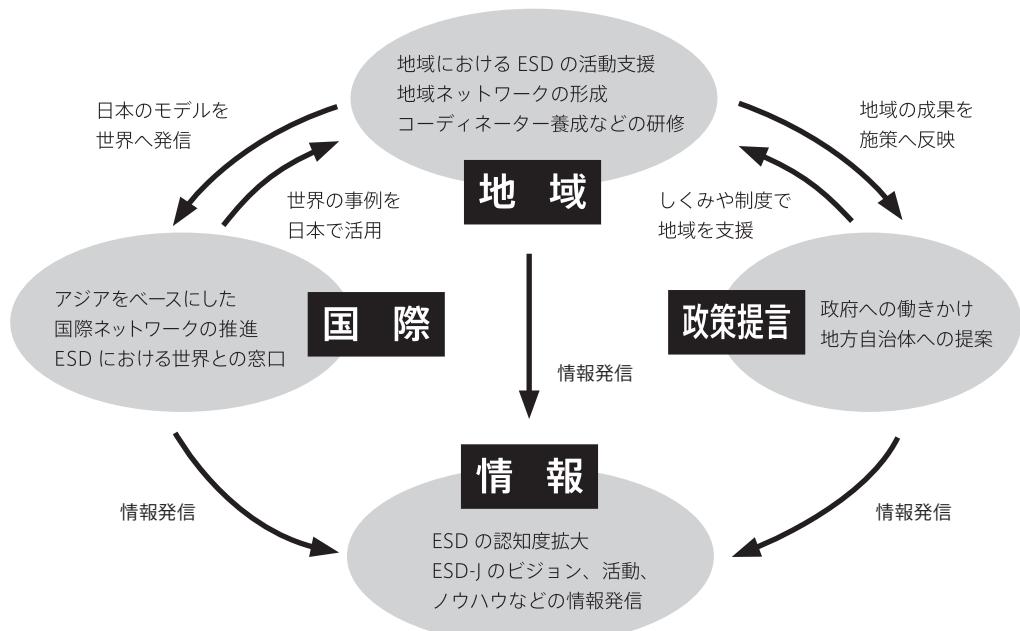
図解 ひと目でわかる！ ESD-J の

「ESD-J ってどんな活動をしているの？会員になったけど、具体的にどう参加したらいいかわからない」「国連もかかわってるし、持続可能っていう言葉は大切な気がするけど……」。そんなわからぬあなたに知つてもらいたい、ESD-J の活動内容——。

ここで紹介するプロジェクトへの参画は、どなたにもオープン。関心ある方は事務局までお気軽にご連絡を。

■ ESD-J とは？

ESD-J とは、日本で ESD をすすめるためのネットワーク組織（2003 年発足）。「ESD の 10 年」という国連の教育キャンペーン（2005～2014 年）を追い風に、環境教育・開発教育・人権教育といった、社会的なテーマにかかわる教育活動を展開している団体や個人が、ともに手をつないだのである。持続可能な社会の実現を合言葉に、以下のような活動を行っている。



その 1 地域における ESD の活動支援。「つなぐしくみ」をつくる
→ 地域ネットワークプロジェクト ⇒ 62 ページ

その 2 政府や自治体に対して、よりよい政策を提案する
→ 政策提言プロジェクト ⇒ 94 ページ

その 3 アジアを中心に ESD にかかわる国際的なネットワークをつくる
→ 国際ネットワークプロジェクト ⇒ 142 ページ

その 4 ウェブサイトや機関紙「ESD レポート」など、各種メディアをとおして ESD 情報を発信する
→ 情報共有プロジェクト ⇒ 122 ページ

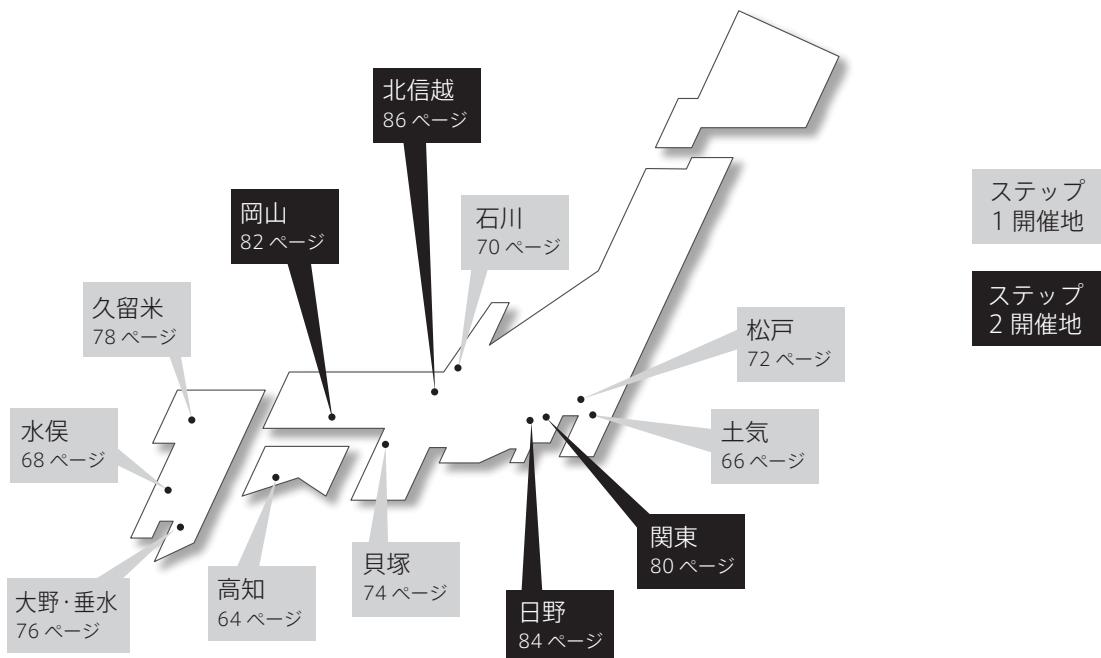
■では、次ページから、2006 年度の活動をのぞいてみよう……

活動内容

地域ネットワークプロジェクト ~地域の ESD を推進するしくみづくり~

● 地域ミーティングを全国 12 カ所で開催 ⇔ 62 ページ

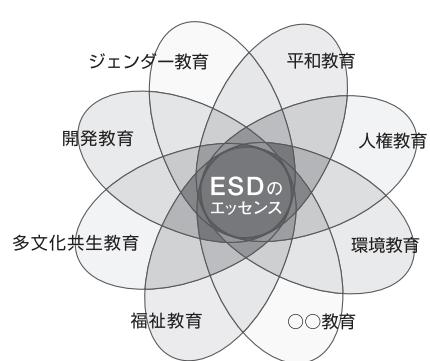
地域のさまざまな活動主体をつなぎ、ESD の理解向上や ESD を広げる戦略づくりなどの議論を目的に、地域ミーティング（ステップ 1）を 8 カ所で開催。今年度は、これまでに地域ミーティングを開催した地域のステップアップ支援も 4 カ所で実施した（ステップ 2）。



● ESD シナリオづくりプロジェクトを実施 ⇔ 2 ページ

ESD につながる教育活動に取り組む全国レベルの団体（9 分野 14 団体 20 名）の方々とともに、現在自分がかかわっている〇〇教育に ESD を活かすためのシナリオづくりを実施した。

< 参加教育分野 > 人権教育、福祉教育、環境教育、食農教育、青少年育成、国際理解教育、平和教育、キャリア教育、ジェンダー教育

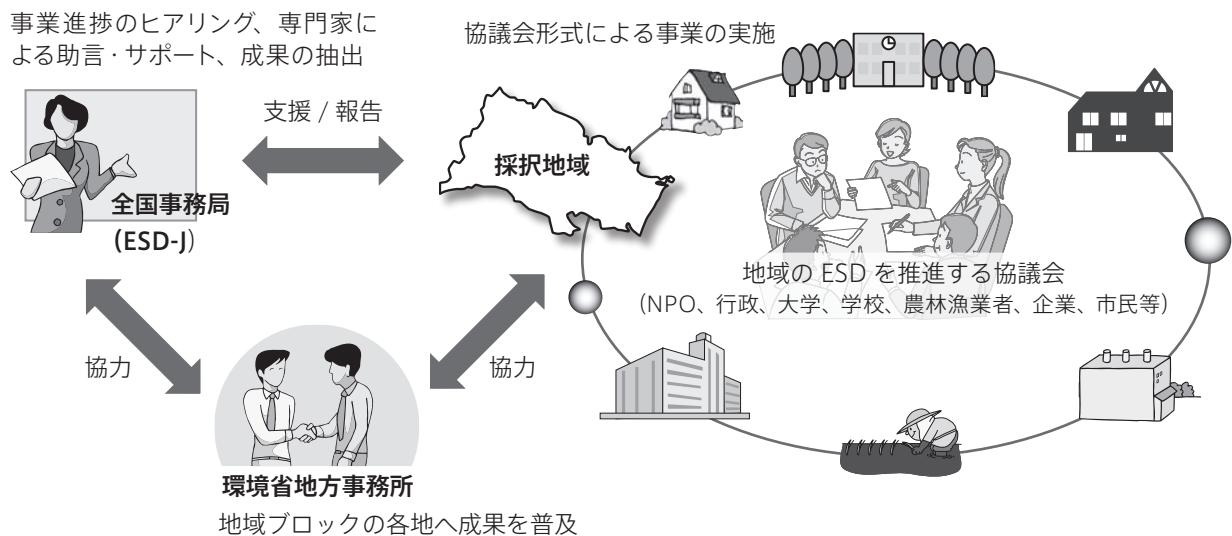


政策提言プロジェクト ~ESDをすすめる政策づくり

●環境省 ESD 促進事業をサポート ⇒ 96 ページ

ESD の「内容」と「しくみ」のモデルづくりを目的に、全国から 10 地域が選出され、各地域で ESD 事業を模索（採択地域は 101 ページ参照）。ESD-J はこの事業の全国事務局を担い、ESD 推進にどのような施策や支援、しくみが有効かを実践を通じて検証した。

事業進捗のヒアリング、専門家による助言・サポート、成果の抽出



● ESD 情報交換会を開催 ⇒ 108 ページ

ESD 関連省庁・機関の ESD の動向について、さまざまな立場からの取組みを紹介し、意見交換を実施した。

【参加省庁・機関】

環境省、文部科学省、外務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、国連大学高等研究所、ユネスコアジア文化センター



● ESD 円卓会議 in 岡山開催 ⇒ 110 ページ

官民協働による ESD 円卓会議を岡山で開催。環境省や文部科学省の ESD 担当者を招き、国と地方がうまく連携していくためのコミュニケーションの場となった。

● 統一地方選挙に向けた緊急アピール ⇒ 112 ページ

2007 年 3 月、春の統一地方選挙の立候補者に対し、緊急アピールまたは公開質問状を送付し、各候補者に ESD を意識してもらい、各自の政策のなかに ESD が組み入れられるように働きかけた。



● ESD 関連施策の調査 ⇒ 114 ページ

2007 年度予算の政府案が発表された 1 月中旬、ESD を始めようとする地域や団体が活用できる可能性のある施策や予算を調査。文科省、環境省、農水省、林野庁、経産省など 10 の施策を選出した。

情報共有プロジェクト ~ ESD にかかる情報を発信・共有する

● ESD レポートの発行 ⇒ 126 ページ

ESD の今を伝える「ESD レポート」を 6 月、11 月、1 月、3 月の 4 回発行した。



● ESD 入門テキストブックの発行 ⇒ 128 ページ



一般向けのわかりやすい ESD 入門ブックを作成・発行（『未来をつくる「人」を育てよう』）。初版 5,000 部印刷、3 月末現在約 3,800 部受注した。



● ESD-J ウェブサイトの運営 ⇒ 124 ページ

イベント案内、政府の動向などを随時掲載するとともに、「ESD レポート」に掲載したコンテンツ、ESD-J の各プロジェクトチームの取組みを必要に応じて掲載した。
(アクセス数：月間平均約 30,000 ページビュー)

国際ネットワークプロジェクト

～アジア・太平洋地域で ESD のネットワークづくり

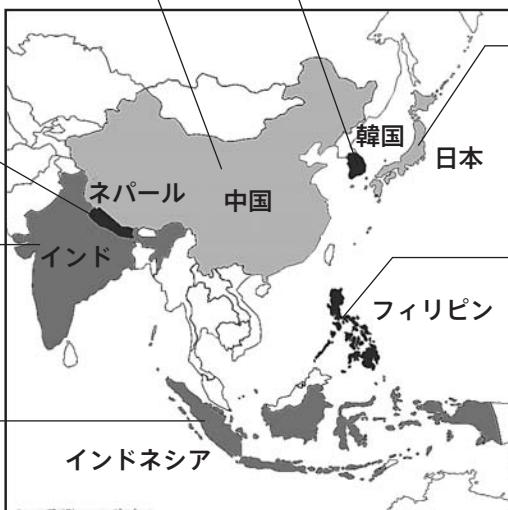
● Asia Good ESD Practice Project (AGEPP) スタート ⇒ 144 ページ

トヨタ環境活動助成プログラムとして採択された 3 年間のプロジェクト。日本を含むアジア 7 カ国の ESD 事例を収集、多言語で利用可能なウェブサイトへ掲載し公表した。



- 美しい市民活動で不要物の活用をめざす ⇒ 163 ページ
- 中国初！NGO・住民・地方政府による流域管理プロジェクト ⇒ 159 ページ
- 持続可能なマングローブ環境教育 ⇒ 161 ページ

- ごみ処理の教材でコミュニティに ESD 的活動が浸透 ⇒ 157 ページ
- 持続可能な農村生活のための環境管理 ⇒ 152 ページ
- 持続可能な生計手段としてのエコ事業 ⇒ 154 ページ
- バドウイ族コミュニティの持続可能な生活 ⇒ 150 ページ



AGEPP 参加国

- 霞ヶ浦流域の環境保全と持続型社会の構築をめざす市民型公共事業 ⇒ 165 ページ
- 川の環境から地域ぐるみの ESD へ ⇒ 167 ページ
- コミュニティ農業のしくみ ⇒ 146 ページ
- 先祖伝来の土地を守り育てる、組織とプログラム ⇒ 148 ページ

● ACD アジア協力対話における「第 3 回環境教育推進対話」を共催



外務省主催の当対話では、2004 年より ESD をテーマに意見交換を実施している。今年度 ESD-J は共催団体となり、オープンフォーラムに参画。日本政府による実施計画の公表セレモニーも行われた。